

長崎バスグループは
持続可能な社会の実現に向けて
積極的にSDGsに取り組んでいきます



SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年に国連で定められた全世界共通の目標です。17個の目標で構成されており、これらを達成することで2030年までに“誰一人取り残さない”より良い世界を目指します。

長崎バスグループは、これからもさまざまな事業を通じ、SDGsに掲げられる社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。

NAGASAKI BUS GROUP

CSR

REPORT 2021

人と人街と街を結ぶ



毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ

長崎バスグループ CSRレポート2021

長崎バス安全教育センター
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>

2022年3月発行



長崎バスグループ
長崎自動車株式会社



With the Community

地域とともにこれからも

社長あいさつ



代表取締役社長
鳴崎真英

人口減少に加え少子高齢化が急速に進む長崎市域。当該エリアを運行する長崎バスのご利用者は年々減少の一途をたどっています。

さらに、今般のコロナ禍による外出自粛や交流人口の減少が追い打ちをかけており、このような状況が続けば、既存のバス路線を維持することが困難になる可能性もあります。

地域の皆様に安全・快適かつ持続可能な運送サービスを提供することは当社の使命であり、SDGsにも合致するところ です。

加えて、ウィズコロナの時代における安全安心な乗車空間の確保、いっそうのバリアフリー化促進、またカーボンニュートラル実現に向けた取り組みなど、様々な課題に対応していかなければなりません。

しかしながら、このような山積する課題を、当社単独で解決することは難しく、地域の交通事業者と行政が一体となり取り組む必要があります。

このような考えの下、令和3年6月、当社は長崎県交通局と連携協定を締結し、独占禁止法特例法に基づく共同経営を行うことといたしました。

現在、長崎市地域公共交通計画に照らし、長崎市域の路線バス網の維持存続に向けた共同経営計画の策定を、当社と長崎県交通局で進めております。引き続き、地域の基盤的サービスである路線バス網を維持するため、最重要課題として取り組んでまいります。

一方、令和4年秋には九州新幹線西九州ルート(長崎新幹線)が暫定開業し、長崎スタジアムシティや松ヶ枝埠頭の2バース化など、交流人口の増加につながる大型開発が続きます。創立85周年を迎えた長崎自動車(株)にとって、これからの10年は100年企業への先んきを左右する大切な期間です。

長崎バスグループはこの好機を活かし、企業価値の向上を果たすとともに、長崎の暮らしを支え社会の繁栄に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

来るべき未来を見据えて
地域課題に向き合い
企業価値のさらなる向上を目指す

長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

経営理念

安全と安心 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。

感謝のこころ お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

仕事への誇り 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

地域とともに 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。



未来もあなたと

1936年に産声を上げた長崎バス。
長崎市鍛冶屋町～茂木本郷を走る
10kmにも満たない小さな路線からのスタートでした。
日本一愛されるバス会社を目指してくまなくバスを走らせ、
地域の皆さまの暮らしを支えること85年。
この街と人のために……。
時代は変化しても想いは変わることなく、
未来へ続いています。

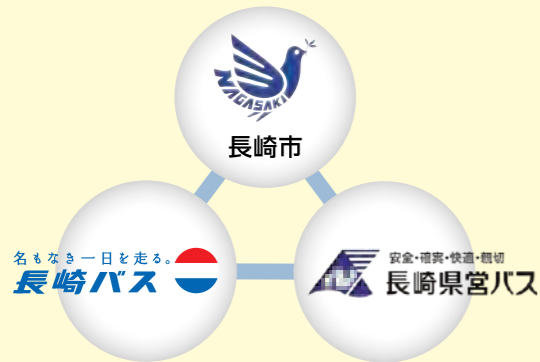
Nagasaki Bus
85th Anniversary



Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



長崎市域路線バス網の維持に向けて連携協定を締結

令和3年6月9日、長崎自動車(株)と長崎県交通局は、長崎市域の路線バス網維持に向け連携協定を締結いたしました。

コロナ禍の行動変容により、全国的に路線バスのご利用者が著しく減少しています。もとより、沿線人口の減少が続いていた長崎も例外ではなく、バス事業者はかつて経験したことのない極めて厳しい環境下にあります。さらに、コロナ禍が収束した場合も、長崎市域では、2035年までに路線バスのご利用者が50%以上減少(2019年比)すると試算されています。

今回の連携協定は、地域の生活の足である路線バス網を維持するには、長崎バスと県営バス、そして長崎市の3者が協力して具体策を講じる必要があるとの共通認識のもと、締結されました。

連携協定を機に、長崎バスグループは、地域の皆様に安心して暮らしていただくため、長崎市域の公共交通最適化への道のりを力強く歩んでまいります。



バス教室の開催

長崎自動車(株)では、路線バスに親しんでもらい、バスのご利用方法や乗車時のマナー、交通安全への理解を深めていただくため、幼稚園、小学校、学童保育等の子どもたちを対象に「バス教室」を開催しています。

令和3年は、コロナウイルス感染拡大により中止も余儀なくされましたが、幼稚園、小学校を対象に計8回、211名へ実施しました。

今後も、このような活動を通じて、地域の皆様に親しんでいただけるきっかけ作りを行ってまいります。



さくら幼稚園バス教室



長崎バス観光 東京2020オリンピック・パラリンピックをサポート

東京2020オリンピック・パラリンピックの選手・関係者の移動手段として、貸切バス5台、リフトバス1台と運転者の派遣を行い、大会運営のサポートに当たりました。

急なルート変更等がある中、不慣れな道を事故や故障など一切なく勤め上げることが出来ました。大会期間中、毎日沢山の関係者の方の移動をお手伝いさせていただき、旅行業に携わる者として達成感を味わうとともに、心に残る取り組みとなりました。



長崎市でICカードを利用した 交通費助成制度開始

長崎市が障がい者及び満70歳以上の高齢者の方を対象に、障がい者の自立と高齢者の外出支援・介護予防を目的として行っている交通費助成制度。令和3年度からバス・電車を利用する際の支払い方法が、従来の紙券からICカード(エスタスTカードまたはニモカ)へ変更になりました。



従来の紙券の場合、バス降車時に差額を支払う手間や小銭の両替等不便な点がありましたが、変更後は事前に助成対象として長崎市へ申請を済ませたICカードを乗降時にタッチするのみ。簡単・便利に運賃を支払えるようになり、車内事故防止にも繋がっています。

また、エスタスTカードの場合、長崎バス・さいかい交通・長崎タクシー共同集金(株)のNTネットワーク加盟タクシーでの利用が助成対象となり、後日、その運賃分のTポイント(助成金)が付与される仕組みです。

なお、付与されたTポイントは、エスタスマナーに交換してバスやタクシーの乗車、エスタス加盟店でのお買い物やお食事に利用できるほか、Tポイント加盟店ではTポイントとしてもご利用いただくことができます。

今後も(株)エスタスでは、多くの機関と協力し、地域の皆様に親しみを持ってエスタスTカードをご利用いただける環境を提供してまいります。

五島自動車 「チョイソコごとう」で 移動手段の確保



福江島では、交通空白地区の移動手段を確保するため、「チョイソコごとう」を開始しました。これは、五島市と民間企業による共同事業で、交通弱者の移動手段の確保や外出機会の創出等を目的とした、会員登録制・電話予約による乗合タクシー事業です。

五島自動車(株)では、五島タクシー営業所にて富江地区の運行業務を行っております。また、同様の事業を島鉄タクシーでも実施しております。

路線バスの運営・路線維持が年々厳しくなる中、地域の皆様方の交通を守る新たな担い手として貢献できるよう取り組んでまいります。



Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みらい長崎ココウォーク 九十九島の牡蠣販売で生産者を応援

新型コロナウイルスの影響により、人の移動制限やイベントの規模縮小・中止、飲食店の営業時間短縮など経済活動が制限される状況が続き、多くの農家や漁師の皆さんが大きな打撃を受けています。みらい長崎ココウォークでは、館内で九十九島の牡蠣の販売を実施。消費拡大を促し、生産者の方々の経営安定につなげるとともに、消費者の皆様へ地元の海産物の魅力を伝える場になりました。今後もこのような活動を通じて、地域の生産者を応援してまいります。



島原鉄道 地域の新鮮野菜と連携 「赤字穀菜セット」の発売



島原鉄道(株)は、地域の新鮮野菜を全国に向けて販売している「トトノウ」と連携し、「赤字穀菜セット」を発売しました。コロナ禍による長引く自粛ムードにより、身体に優しい食への関心が高まっています。

全国の皆様へ、島原半島のおいしい新鮮野菜とお米を届けたいという想いのもと、健康を意識して開発した「赤字穀菜セット」。お米1kgと旬の野菜5~7品がセットになっており、様々なメディアにも取り上げられました。全国各地から、たくさんのご注文と応援のメッセージをいただき、社員の励みにもなりました。

好評につき、令和4年1月からは、グレードアップした“超”と“極”の2種類の“穀菜”を追加発行しました。島原鉄道(株)では、今後も地域の皆様と協力して地元の魅力を発信してまいります。

みらい長崎ココウォーク さしみシティ プロジェクト



日本一の魚種と国内2位の漁獲高を誇る水産県・長崎。長崎市が推進する「さしみシティプロジェクト」は、長崎の美味しい海産物を全国に広め、地域の活性化につなげようとする取り組みです。株式会社みらい長崎は本プロジェクト第一号推進認定社となり、田上市長より認定証を受理してまいりました。今後は、みらい長崎ココウォーク館内でのイベント等の展開を通じて、地元のお客様はもちろん、県外のお客様にも長崎の魅力を発信していけるよう活動してまいります。



TSUTAYAブック&カフェ × FM長崎 長崎市恐竜博物館 出張イベントを開催

令和3年10月に長崎市野母崎に誕生した長崎市恐竜博物館。オープンに先駆け7月17日に、TSUTAYAブック&カフェイベントスペース(ココウォーク5階)でFM長崎の甲斐田貴之様と長崎市恐竜博物館準備室学芸員の方による、出張トークイベントを開催しました。また、トークイベントの様子を動画収録し、後日館内で放送しました。恐竜博物館の情報はもちろん、長崎と恐竜の話、恐竜に関する最新ニュースや恐竜のレプリカ展示など、恐竜好きにはたまらないイベントとあって、多くのお客様にお越しいただきました。今後も地域とともに歩む企業として、この街に根差したさまざまなイベントを開催し、地域活性化に尽力してまいります。



おもてなしワッペン



「長崎県総おもてなし運動」とは、長崎県を訪れるお客様に、県民とふれあう心温まる旅を提供するために行う事業です。観光客を『笑顔にさせる対応』を目指し、2009年4月より、県民・事業者・行政が一体となって展開しています。長崎バスグループ各社では、出島をはじめ観光業に携わるスタッフがワッペンを着用。「ワンランク上のおもてなし」を推進し、お客様を笑顔にする対応を心掛けています。

長崎バス 観光開発振興基金

長崎バス観光開発振興基金は、豊かな郷土づくりと人づくりに寄与することを目的に、昭和61年に設立いたしました。観光を通じて社会、経済、教育、文化、科学芸術の振興など、広く時代の要請にこたえる事業に対して助成を行っております。令和3年度は、文化振興、観光振興、平和発信等を図るための助成を行いました。今後も観光、文化、スポーツ、国際交流、教育、学術等の振興および自然環境保護を図るため、必要な助成を通じて長崎のみらいを創造し、その発展に貢献してまいります。



島原鉄道 修学旅行で島原の魅力再発見

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、公立小学校の多くが修学旅行の行先を県外から県内に変更する動きが強まり、島原鉄道(株)では昨年に引き続き「しまつ体験プログラム」の販売を開始しました。同体験プログラムは昨年、修学旅行を企画する長崎市の旅行会社様よりご相談を受け、島原鉄道が作り上げたものです。令和2年は17校(約1000名)、令和3年は33校(約1,800名)にご参加いただきました。体験プログラムの内容は、多比良駅から島原駅まで臨時列車に乗車し、途中日本一海に近い駅といわれる大三東駅で下車。絶景を堪能します。その後、島原駅では乗車券にハサミを入れる改札体験をして、島原半島の成り立ちや島原鉄道の歴史を学ぶ動画を鑑賞。最後に、自分が描いた塗り絵を缶バッジにする缶バッジ作り体験を行い終了となります。参加した小学生の皆さんには、「缶バッジ作りが楽しかった。」「島原鉄道に初めて乗った。今度は家族と来たい。」と大変喜んでいただきました。日頃あまりなじみのないローカル線への乗車体験を通じて、島原半島の魅力を感じていただけるよう、今後も取り組みを継続してまいります。



Community

地域社会

出島少年伝習所

かつて長崎には海上防衛の強化を図るため、オランダ商館長らの勧めにより、幕府海軍士官を養成する「長崎海軍伝習所」が設置されました。そこでは、オランダから贈られた幕府初の木造蒸気船「観光丸」を練習艦として使用。軍艦の操縦はもとより、造船・医学・語学など様々な知識・技術を、幕臣や諸藩の藩士たちが学びました。

この夏、長崎開港から450年を記念して「出島少年伝習所」を設立。出島VOFが主催し、史跡出島及び観光丸を舞台に、楽しみながら長崎の歴史を学んでいただけるイベントです。令和3年7月31日に開催した第1回イベントには、市内の小学生30名に参加いただき、盛況のうちに終了しました。

今後も、長崎の魅力を発信する新たな取り組みとして、様々なイベントを企画してまいります。



ロープワーク体験



Safety and Security



安全・安心

アイマークレコーダ・補助ブレーキ搭載

長崎バス安全教育センターで使用している教習車に、最新の計測・分析装置・安全確認装置を搭載いたしました。各装置の導入により、訓練時に「安全確認行動」と「運転技能」における癖(問題点)が表示・数値化されるようになり、運転者自らがそれらを把握しやすくなりました。理解度が高まるとともに、より説得力のある指導も可能となりました。グレードアップした教習車を使用した訓練など、今後も安全運行に関する取り組みを一層強化してまいります。

アイマークレコーダ

運転者の視点の動きや停留状況から、運転中及びドア操作時に適切な安全確認が出来ているか表示します。



補助ブレーキ・ミラー



指導員用補助ブレーキや補助ミラーを搭載し、走行訓練を安全に行うことが可能になりました。

映像収録・動揺測定・走行データ計測



運転席後部のモニターで、リアルタイムでの車両動揺や車内外の様子、運転者の視線動向の確認ができます。

安全確認装置



車内外の乗客や歩行者等を想定した、動きや光を伴う確認用ツールを搭載。運転者が確認すべきタイミングでそれらのターゲットを作動させ、アイマークレコーダの視線測定と併せ、安全確実に判定することができます。

マイク音量計



運転者のアナウンスが、車内に効果的に伝わる音量かどうか計測し、dB(デシベル)表示します。



認知症サポーター養成講座

長崎自動車(株)では、長崎県すこやか長寿財団主催の認知症サポーター養成講座を、営業所長、営業所係長及びお客様と接する機会が多いサービスセンターの管理者を対象に実施しました。



認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、本人やその家族を温かく見守る応援者のことを指します。日常生活のあらゆる場面において、自分のできる範囲で、支えになれるよう手助けをする役割を担います。

各受講者は、公共交通機関の従事者として、認知症に対する正しい知識、接遇方法等を学びました。

主事・副主事 運転者研修

長崎バス安全教育センターでは、昨年に引き続き、運転者の指導的役割も果たす、主事・副主事運転者106名を対象に研修を実施しました。

後輩育成に対する基礎・考え方を学び、それに基づいて後輩役・指導役に分かれロールプレイングを実施。実際に行動に移せる姿勢や態度を養いました。

今後も、リーダーとして職場の活性化及び、後輩への指導・育成にも尽力してほしいと思います。



シニア運転者研修



65歳到達時に適齢診断を受診した運転者を対象に、シニア運転者研修を実施しました。加齢に伴う身体機能の変化と運転行動への影響、並びに健康管理の重要性を理解する機会となりました。

運行管理者主任研修の実施

長崎バス安全教育センターでは、運行管理者に対する研修を営業所主任(年2回)、営業所係長(年1回)を対象に継続して実施しています。

令和3年の営業所主任を対象とした研修では、非常時の対応研修を実施。ロールプレイングを通して、スキル向上を図りました。

このような研修を通じて一人ひとりが、管理者として輸送の安全・安心を確立するための高い意識の維持継続と指導力の向上に努めております。



島原鉄道

貸切バス事業者安全性評価認定制度 2つ星取得

公益社団法人日本バス協会では、貸切バスをご利用されるお客様が、安心してバス会社を選択できるよう、安全評価認定制度を設けております。「SAFETY BUS」(セーフティバス)は、安全に対する取り組みが優良なバス会社であることを示すシンボルマークです。

令和3年12月27日、島原鉄道(株)は認定委員会にて、2つ星の認定を取得しました。今後も皆様に、安全・安心を提供するために弛まぬ努力を続けてまいります。



島原鉄道貸切バス

営業所での清掃活動

長崎自動車(株)の各営業所では、運転者自らの発案により、バスを運行する路線周辺の清掃活動を行っています。

バス停や路線のごみ拾い、生い茂った草木の刈り取りなどを通して、お客様が安全かつ快適にバスをご利用できる環境整備に努めています。

また、バス商事(株)では、店舗周辺から新地中華街入口付近まで、地域の皆様が気持ちよく過ごせるように毎日清掃活動を行っております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



NAGASAKI BUS GROUP

Ecology

環境活動

エコ運動の継続

長崎自動車(株)では、全車にデジタルタコグラフを装着し、運転者の安全運行と燃料節約に管理者、運転者一丸となって取り組んでいます。

年2回実施しているエコ運動では、安全運転最優先を念頭に、燃料及びデジタコの好成績維持を目標とする運動・指導を行っています。

今後も私たちに出来るSDGsとは何かを考え、取り組みを継続してまいります。

エコドライブ
(穏やかな運転)

環境対策 地球温暖化・大気汚染防止
資源保護

安全確保 事故防止

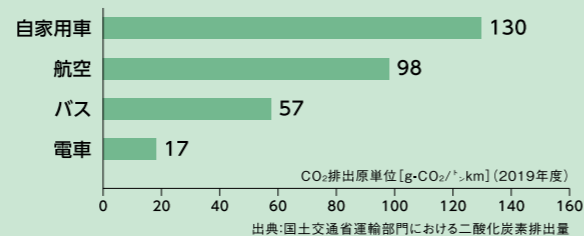
経営改善 燃料・資材等コスト削減

バスや鉄道の利用でCO2排出量を削減

1人が1km移動する時、マイカーは130g、バスは57g、鉄道は17gと、マイカーよりバスや鉄道の方が、利用時の二酸化炭素排出量が抑えられることが分かっています。

長崎バスグループでは、バスや鉄道などの公共交通機関の利用促進を図り、環境負担軽減に取り組んでいます。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量



太陽光発電事業

長崎自動車(株)では、平成24年から太陽光発電事業を行っております。安全教育センター、整備工場の屋根上及び、鳴見車庫の一部を利用し、1,000kwを超える発電設備を稼働させています。

太陽光発電事業を通じて今後の電力需要に対応するとともに、地域社会の一員として低炭素化・省エネ活動を推進し、環境負荷低減に貢献してまいります。

鳴見車庫の太陽光発電



トピックス Topics 2021

プレミアムライナー・観光ルートバス運行開始

新型コロナウイルスの影響で令和3年5月から運休していた「ながさき観光ルートバス」が、令和3年11月1日より、新ルートにて運行を再開しました。

出島メッセ長崎の開業に伴い運行を始めた新ルートは、長崎駅西口を出発し、出島表門橋、グラバー園間を約30分で結びます。

往復とも長崎港ターミナルを経由し、県外の観光客だけでなく、ビジネスや観光で島を訪れる県民の皆様にもご利用いただけます。長崎市中心部の観光はもちろん、市民の皆様の日常の足としてもぜひご利用ください。

また、令和3年4月6日より、平日朝夕の通勤時間帯に、長崎北部地区(滑石・横尾・時津)～長崎市内中心部間にて、快速シャトルバス「プレミアムライナー」の運行を開始しました。長崎北部地区～長崎市内中心部を約30分で結び、通常運賃+100円(座席定員料金)で、ゆったり快適にご利用いただけます。

なお、観光ルートバス及びプレミアムライナーは、空港線の車両を活用し運行しています。これからも、常にお客様のニーズにお応えし、安全・安心・快適な輸送を提供してまいります。



カンパーナホテル



ホテル日航ハウステンボス

2つのホテルで開業25周年

ホテル日航ハウステンボスは令和3年4月26日、カンパーナホテル(五島)は令和3年7月20日に、それぞれ開業25周年を迎えました。

なお、ホテル日航ハウステンボスでは、25周年を記念し、大阪を拠点に活躍する“LEON TERASHIMA(レオン・テラシマ)”氏がロゴマークをデザインしました。

25周年を迎えた両ホテルは、これからもご来館いただくお客様を笑顔と真心でお迎えいたします。



ホテル日航ハウステンボス
開業25周年記念ロゴマーク

しまてつかフェトレイン ラッピング車両 お披露目

令和4年秋の西九州新幹線の開業に向けた機運醸成及び、これから多くの観光客の皆様にも県南エリアへ足を運んでもらうための取り組みを実施していくにあたり、長崎県公共交通機関環境整備等支援事業補助金を活用し、鉄道車両にしまてつかフェトレインの専用ラッピングを施しました。令和3年12月25日に諫早駅にて出発式を行い、ラッピング車両をお披露目した後、関係者の皆様に見送られながら、多くのお客様を乗せて元気に走り出しました。

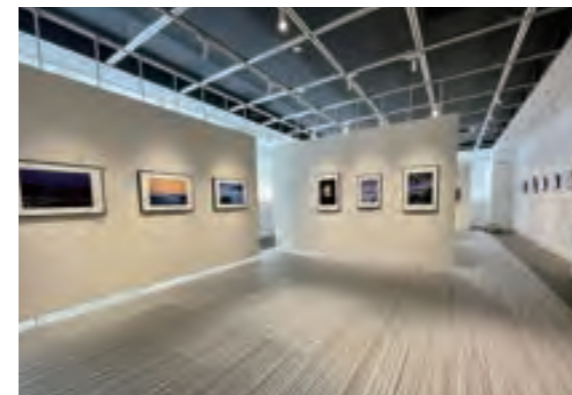


「楽ギャラリー」にて 特別企画展 『長崎の港』開催

(株)イズワークスが発刊している、季刊誌「楽」では、令和3年6月に52号「特集／長崎の港」を発刊いたしました。

本企画展では、開港450周年を迎える「長崎の港」をテーマに、港を介して育まれてきた文化や、現代に受け継がれている風景、そしてこれから未来へ残していきたいものなどに焦点をあて、現在の長崎港の姿や、港を思い起こす様々な写真と長崎港の歴史を紹介したパネルを展示いたしました。

これからも、「長崎を知る、遊ぶ」をコンセプトに、長崎の奥深い魅力を発信していけるよう精進してまいります。



弾道測定器『トラックマン』 長崎県内初導入

ゴルフ・ドゥ! ココアドバンス東長崎店が、令和3年10月22日に移転リニューアルオープンしました。2階にはインドア練習場を4打席開設。内1打席は、長崎県内初導入の弾道測定器『トラックマン』を設置しています。今まで感覚が頼りだった練習が、測定機によってスイングの仕方、打つ瞬間、ボールの飛距離などを確認できるようになりました。上達スピードも格段にアップすることは間違いありません。

これからも、お客様に喜んでいただける店舗を目指してまいります。

長崎バス商事 社会貢献活動

ゴールドリボン推進活動

ゴールドリボンとは、小児がんへの関心・理解・支援の呼びかけを行う活動です。長崎バス商事は、オリジナル自販機の設置を通じてこの活動に協力しております。

アフラックキッズ サポートシステムへの協力

公益財団法人 がんの子どもを守る会が運営している「アフラックキッズサポートシステム」に協力しております。

今後も長崎バス商事(株)は、社会貢献活動を積極的に推進してまいります。

生命保険事業 取り扱いが7社に

長崎バス商事(株)では、生命保険会社の取り扱いが7社となり、更に皆様のニーズにお応えできるご提案が可能になりました。

- ・アフラック生命
- ・三井住友海上あいおい生命
- ・東京海上日動あんしん生命
- ・オリックス生命
- ・日本生命
- ・明治安田生命
- ・SUDACHI少額短期保険株式会社

DX推進で お客様の利便性向上

令和3年7月16日、タッチパネル式の「定期券自動継続機」を新地総合サービスセンター及びココウォークバスセンターへ設置いたしました。これを機に、窓口が営業時間外の朝夕でも更新が可能となり利便性が向上しました。

今後もこのようなDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、利便性と生産性の向上を図ることで、お客様の暮らしを便利で豊かにしてまいります。



エヌタス公式キャラクター 「えぬたん®」誕生

(株)エヌタスではサービス開始1周年の記念企画として、公式キャラクターのデザインを募集。国内外より総数692体ものご応募をいただきました。

その中から栄えある金賞に選ばれたのは、エヌタスカラーのボディをした三毛猫の男の子。商標登録を経て晴れて公式キャラクターとなりました。

N型の耳と+(プラス)の尻尾がチャームポイント。覚えやすく親しみを込めて呼んでもらえるようにと、名前を「えぬたん®」に決定しました。見た目はクールですが、好奇心旺盛でいろいろな方とコミュニケーションを取ることが大好きです。たくさん名前を呼んで、えぬたん®と関わっていただけると嬉しいです。

長崎の皆様へ愛されるキャラクターになれるよう頑張りますので、応援のほどよろしくお願いたします。



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社	長崎バスターミナルホテル
長崎バス観光株式会社	みらい長崎ココウォーク
さいかい交通株式会社	株式会社COCOアドバンス
長崎バス商事株式会社	五島自動車株式会社
長崎バス建物総合管理株式会社	島原鉄道株式会社
長崎バス情報サービス株式会社	島鉄観光株式会社
長崎バスホテルズ株式会社	株式会社イズワークス
ホテル日航ハウステンボス	株式会社エヌタス
雲仙温泉青雲荘	